

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：刑事警察費

事業名【新】サイバー空間対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課 電話番号：058-271-2424(内3491)

警備部 警備総務課 電話番号：058-271-2424(内5511)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,181 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,181	0	0	0	0	0	0	0	1,181
決定額	1,181	0	0	0	0	0	0	0	1,181

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

サイバー空間が社会生活や経済活動に不可欠な基盤として定着し、実空間とサイバー空間との融合が進む中、近年ランサムウェアによる被害が拡大しているほか、国家を背景に持つサイバー攻撃集団によるサイバー攻撃が明らかになるなど、サイバー空間における脅威は、極めて深刻な情勢が続いている。

令和3年9月に政府における「サイバーセキュリティ戦略」が策定されたことや、警察庁における組織改正等を踏まえ、社会情勢の変化を見据えた取組を一層推進するため、令和4年4月に「警察におけるサイバー戦略」を策定した。

本戦略に基づき、悪質・巧妙化するサイバー空間の脅威に対処するため、捜査員の捜査能力の向上や部門間の連携強化はもとより、サイバー攻撃等の被害防止を図るため、県内の重要インフラ事業者に対する教養や県民に対する広報啓発を行っているが、更に演習用端末を整備し、実践的な訓練を提供し、サイバー攻撃への理解を深める必要がある。

またランサムウェアによる被害は、重要インフラのみならず、中小企業でも発生していることを踏まえ、中小企業に対するサイバーセキュリティ対策を実施していく必要がある。

(2) 事業内容

- ・中小企業に対するサイバーセキュリティ対策の講演開催
- ・サイバー攻撃にかかる演習環境の整備

(3) 県負担・補助率の考え方

県内の重要インフラ事業者等に対するサイバー攻撃への対処等、県民の安全安心を確保する事業であり、県負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	54	サイバーセキュリティ対策講演講師謝金
旅費	4	サイバーセキュリティ対策講演講師旅費
需用費	453	演習端末用消耗品、サイバーセキュリティ対策用冊子
備品購入費	630	演習端末整備費
使用料及び賃借料	40	レンタルサーバ使用料、ドメイン取得維持費
合計	1,181	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
Ⅱ-2-(2)-③
犯罪・交通事故防止の推進
- ・「サイバーセキュリティ戦略」
令和3年9月、政府による「サイバーセキュリティ戦略」が閣議決定
警察においても「警察におけるサイバー戦略」を発出し、サイバー空間の脅威への対処に関する取組を一層推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

サイバー空間の脅威に対処するため、捜査員の捜査能力を高め、県内の企業等へのサイバー攻撃被害の未然防止を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

県内重要インフラ事業者等へのサイバー攻撃の対処能力向上等が目的であり、数値的な目標管理にそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 日々進化・悪質巧妙化していく攻撃手法・技術に対する知識を絶えず習得し、サイバー攻撃への対処能力向上に努める。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか サイバーセキュリティ戦略に基づいて県警のサイバー空間の脅威に対する対処能力の向上や企業等の防犯意識を定着させるため、事業を継続する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
